



SAP Ariba 

# 機能の概要

Guided Buying の出荷先の国と、優先サプライヤおよび採用サプライヤの地域との設定可能なマッピング

David Leonard, SAP Ariba  
一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

# 機能の概要

導入の難易度  やや複雑  
対象エリア  グローバル

説明: Guided Buying の出荷先の国と、優先サプライヤおよび採用サプライヤの地域との設定可能なマッピング

## 今までの課題

SAP Ariba Buying ソリューションの Guided Buying 機能では、サプライヤ検索時の優先サプライヤと採用サプライヤのフィルタリングに、出荷先住所で指定されている標準の 2 文字の ISO 国コードが使用されます。一方、優先サプライヤデータと採用サプライヤデータでは、地域コードが使用されています。これまで、出荷先住所で使用されている標準の 2 文字の ISO 国コードと、3 文字の ISO 地域コードの標準セットとのマッピングは、SAP Ariba システムによって自動的に行われていました。ただし、この自動マッピングは 3 文字の ISO コード以外の地域コードを使用しているサイトでは適用されなかったため、Guided Buying の検索で出荷先住所をそういったほかの地域コードとマッチングできないという問題が生じていました。

## 対象ソリューション

- SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance (SLP)
- SAP Ariba Supplier Information and Performance Management (SIPM) の新しいアーキテクチャ
- SAP Ariba Strategic Sourcing Suite
- SAP Ariba Buying (Guided Buying 機能あり)
- SAP Ariba Buying and Invoicing (Guided Buying 機能あり)

## SAP Ariba で問題解決

この機能によって、Guided Buying で使用される出荷先住所の国コードと、優先サプライヤおよび採用サプライヤに対して使用される地域コードマスタデータとのマッピングを定義できる、新しいマスタデータインポートタスクが導入されます。これにより、Guided Buying の検索で、使用する地域コードに関係なく、適切な優先サプライヤと採用サプライヤを識別できるようになります。

## 関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

## 主なメリット

業務的購買および戦略的購買を実装するために地域コードを定義する際の柔軟性が向上します。

サプライヤ検索で高い精度が確保されるため、地域または商品分類に対するサプライヤの特定を適切に行うことができます。

## 前提条件と制限事項

マスタデータをインポートしてパラメータを管理するには、[顧客管理者] グループのメンバである必要があります。

この機能を有効化する前に、[国コードとソーシング地域コードのマッピングをインポートする] データインポートタスクを使用して、マッピングするマスタデータをインポートしてください。

Guided Buying でパラメータ `ENABLE_SM_INTEGRATION_ON_COUNTRYCODE` を有効にする必要があります。

## 機能の概要

説明: Guided Buying の出荷先の国と、優先サプライヤおよび採用サプライヤの地域との設定可能なマッピング

### 機能の詳細情報

SAP Ariba Buying ソリューションの Guided Buying 機能では、出荷先住所で標準の 2 文字の ISO 国コードが使用されますが、サプライヤが優先サプライヤまたは採用サプライヤであるかは、サイトの地域コードマスターデータに基づきます。これらのコードをマッピングすることにより、Guided Buying における検索で、適切な優先サプライヤおよび採用サプライヤを特定できるようになります。

この機能がサイトで有効化されている場合、個別の [国コードとソーシング地域コードのマッピングをインポートする] データインポートタスクを使用して、Guided Buying で使用される 2 文字の ISO 国コードと、サイトで優先サプライヤおよび採用サプライヤの識別に使用されている地域コードとのマッピングを定義します。

Guided Buying の検索でこのマッピングマスターデータを使用するには、[管理] → [パラメータ] → [パラメータの管理] でパラメータ ENABLE\_SM\_INTEGRATION\_ON\_COUNTRYCODE を有効化する必要があります。

## 機能の概要

説明: Guided Buying の出荷先の国と、優先サプライヤおよび採用サプライヤの地域との設定可能なマッピング

[国コードとソーシング地域コードのマッピングをインポートする] データインポートタスクを使用して、Guided Buying のサプライヤ所在地で使用される 2 文字の ISO 国コードと、優先サプライヤおよび採用サプライヤに使用される地域コードマスターデータとの間のマッピングを定義します。このタスクでは、CountryToSourcingRegionMapping.csv ファイルからデータが読み取られます。このファイルには以下のフィールドが含まれています。

フィールド	説明	必須?
CountryCode	Guided Buying のサプライヤ所在地で使用される 2 文字の ISO 国コードの 1 つ	はい
SourcingRegionCode	国コードをマッピングする地域コード。このフィールドの値は、SAP Ariba Strategic Sourcing ソリューションのサイトにロードされる地域マスターデータの [地域] フィールドにおいて有効な値である必要があります。	はい

以下に、CountryToSourcingRegionMapping.csv ファイルの行と必須ヘッダーの例を示します。

	A	B
1	UTF-8	
2	CountryCode	SourcingRegionCode
3	US	USA
4	GB	UK
5	JP	JPN
6	DE	Germany
7	CN	CHN
8	CW	CUW